

# 27名の新生を迎え、学校がスタート

4月6日、二七名の新生を迎え、入学式が行われました。コロナ禍のため、来賓には参加を遠慮していただきましたが、新生と保護者、職員と2、3年生の生徒会代表が参加し、実施しました。

新生呼名では、担任に名前を呼ばれると、一人一人がしっかりと返事をし、三珠中学校の新たな仲間になりました。

新生を代表して、「誓いの言葉」が発表され、勉強や部活動など、様々なことにチャレンジしたいと決意を述べました。式終了後は、そのまま体育館で、1学年のPTA部会を行い、学級活動で担任から配布物や今後の予定の確認が行われました。

よいよ中学校生活の始まりです。早く慣れ、有意義な毎日を送りたいと思います。



令和4年度の三珠中学校の教育活動が始まりました。

コロナウイルス感染症は未だ収束の見通しがたらず、コロナ禍で迎える、3度目の始業式、入学式となりました。

そのような中ですが、1年間次のような学校を目指して、教育活動を進めていきたいと考えています。

- 生徒に確かな学力が身につく学校
- 生徒に豊かな心が育つ学校
- 生徒が安心、安全に過ごせる学校
- 保護者、地域に信頼される学校

具体的には、本校の学校の目指す姿を示した「学校ブランドデザイン」を裏面に載せましたので、ご覧になってください。ここで示す姿が実現できるよう全職員で取り組んでいきたいと思っておりますので、1年間よろしくお願いたします。

三珠中学校  
学校便り

# 礎

ishizue

令和4年4月11日  
文：校長 丹沢伸也

## 新生に心に留めてほしいこと

入学式で校長より新生に「心に留めてほしいこと」として次のような話をしました。

### ○多くのことにチャレンジしてほしいこと

自分の個性は何なのか、何に向いているのか、何が得意なのか、それは変化のない生活からは見つけられません。様々な新しいことにチャレンジし、成功と失敗を繰り返しながら、自ら発見したり、周りの人に気づいてもらったりするのだと思います。「自分」を知ること、将来進む方向も見えてきます。好きなこと、好きでないこと、得意、不得意もあると思いますが、まずチャレンジしてください。

### ○目標をたてて生活すること

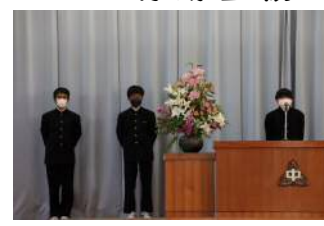
目標を実現するうえで大切なことは「適切な目標」をたて、その実現のために努力をしてほしい、ということです。脳科学者として活躍する茂木健一郎さんは、目標について「易しすぎれば退屈する。難しすぎれば無力感にとらわれる。自分が全力で挑戦して、やっとクリアできるような目標を立てること」と、目標を調整することが大切と言っています。目標は、達成させることが前提で、ただ決めるだけでなく、「何をするか決めること」、「そのための努力をすること」が併せて必要です。目標が達成できた時には、新たな目標が生まれ、その積み重ねが大きな力、夢の実現につながると思います。

新生だけでなく、2、3年生もそれぞれ進級をし、同じように目標をたてたことと思います。同様に、目標実現のために参考にしてもらえればうれしく思います。

6日、6名の職員を新たに迎える新任式が行われ、一人一人の職員の紹介の後、生徒会長が代表して、歓迎の言葉で迎えました。続く始業式では校長が話をを行い、立場が変わる変化をエネルギーに変え成長してほしいこと、目標を立てて生活してほしい、と話しました。また、引き続きコロナ感染症対策に取り組んでほしいこと、生徒減に伴う、今後の部活動の再編についても話をしました。



最後に、学級担任と教科担当の先生、部活動顧問の発表が行われ、新年度の学校生活が始まりました。



## 6人の職員を迎え、新任式、始業式

2、3年生もそれぞれクラス替えを行い、新たな仲間間で学年をスタートさせました。それぞれ、最上級生、中堅学年と立場が変わりますが、その役割をしっかりと果たせるような学年づくりを、新たに担任になった先生たちと進めたいと思います。



## 2、3年生も学年開き



## 生徒会対面式

7日には年度はじめ恒例の生徒会主催による「生徒対面式」が実施されました。密を避けるため、校庭での実施と

## 学校便り「礎」

学校の様子を、学校便り「礎」で定期的にお知らせします。「礎」は、本校の校歌の一番にある言葉で「基礎となる大事な物事」という意味ですが、人の成長の基礎となる事柄を意識し、大切にしながら、教育活動を進めていきたいと考えます。なお、昨年度まで「礎」として生徒指導通信としていたものを、学校便りに代え、生徒指導についての内容も、併せて伝えていきます。

## コロナ感染症対策 協力をお願い



「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」で示す地域感染レベルについて、1月末より「レベル3」となっていたのが3月23日付けで「レベル2」に変更になりました。しかし、毎日伝えられている通り、感染者数は下げ止まりのまま増える日もあり、「オミクロン株派生型の広がり」「第7波の入り口」とする専門家もいます。そのような状況の中、引き続き感染症対策の協力をお願いします。詳細は、裏面をご覧ください。

## 職員紹介

校長 丹沢 伸也  
 教頭 岩井 ゆかり  
 養護教諭 一瀬 美和  
 事務主任 三澤 沙也佳  
 学校司書 遠藤 早苗  
 業務員 水上 清  
 非常勤講師 村松 真理  
 非常勤講師 板垣 富士代  
 非常勤講師 河野 孝  
 非常勤講師 井上 智美  
 非常勤講師 数野 一郎

教諭 伊藤 正人 理科  
 教諭 河西 弘三 1年主任・C組担任 体育 男子バレー部  
 教諭 雨宮 瑞樹 1年担任 理科 女子バレー部  
 教諭 佐野 恵美子 2年主任 数学 総合文化部  
 教諭 小野 こみち 2A担任 英語 卓球部  
 教諭 大木 貴仁 2B担任 社会 ソフトテニス部  
 教諭 磯野 路子 3年主任 国語 女子バレー部  
 教諭 泉 ももこ 3B担任 音楽 卓球部  
 教諭 小林 雄飛 3A担任 英語 野球部  
 教諭 荻野 香織 3年所属 D組担任 社会 野球部  
 SC 後藤 義光  
 通訳支援員 赤池 ミシェリ  
 栄養教諭 遠藤 裕子 (兼務) \*新任職員を裏面で紹介しました。  
 ALT ミカキ シュライ-



令和4年度 三珠中学校グランドデザイン

校訓 自主・自律



学校教育目標

「心豊かで確かな学力をもち、たくましく活動する生徒の育成」

めざす生徒像

明るく素直で、礼儀正しく、  
笑顔であいさつする生徒

共に学び、共に生きる生徒

自ら考え、正しく判断し、  
よりよく行動する生徒



めざす学校像

学習規律が身につく、授業がよくわかる学校  
全員に番があり、満足感、成就感がある学校  
家庭や地域と連携した、信頼される学校  
生徒が、安心、安全に過ごせる学校

めざす職員像

健康で、情熱と愛情、やる気にあふれた職員  
自己研鑽を積み、生徒と共に学び続ける職員  
一人一人を大切にする、共感力が高い職員  
同僚と協調しながら、共に切磋琢磨する職員

目標達成のための具体的取り組み

確かな学力

- ・基礎、基本、基本的な学習習慣の定着
- ・話し合いや発表、対話的な学習活動の充実（『みたまスタンダード』による授業実践）
- ・個に応じた学習指導の充実
- ・授業のデジタル化とICT機器の積極的活用
- ・家庭学習の習慣化と朝学習の充実
- ・各種学力テストやQU分析に基づく改善
- ・外国語教育の充実
- ・豊かな学びのための有効な予算執行

- ・生徒自ら考え、実行する生活習慣づくり
- ・生徒会、自治的な活動による充実した学校生活
- ・あいさつ運動の推進
- ・いじめを「許さない」「させない」指導の徹底
- ・「考え議論する道徳」の推進
- ・ボランティア活動の推進
- ・読書活動の推進
- ・自己の生き方を見通したキャリア教育の推進
- ・不登校を防ぐ手だて、保護者やSC等との連携
- ・インクルーシブ教育、特別な支援の充実

豊かな心

健康安全

- ・自己の健康管理と家庭と連携した健康教育
- ・コロナ禍における新しい生活様式の定着
- ・情報モラル教育の推進
- ・体力テスト、1校1実践による体力向上
- ・安全で効果的な部活動の推進
- ・避難訓練、交通安全等安全教育の充実
- ・校内環境美化の推進
- ・施設・設備の適正な管理、整備

地域・家庭連携

- ・小中連携の推進
- ・みさと学・ふるさとキャリア教育推進
- ・ホームページや各種「たより」による情報発信
- ・保護者や地域との連携

本年度の指導重点と達成指標

- ・基本的な学習習慣の定着、わかる授業づくり
- ・家庭学習の定着、家庭学習ノートの質の向上
  - ・ICT教育の推進
- ・基本的な生活習慣、道徳心の向上
- ・様々な課題を抱えた生徒への対応、支援
  - ・特別支援教育への組織的な対策
  - ・感染症対策の啓蒙、指導
  - ・保護者、地域への情報発信



- ・生徒、保護者の肯定的評価8割以上
- ・生徒、保護者の肯定的評価7割以上
- ・生徒、職員の肯定的評価9割以上
- ・生徒、保護者の肯定的評価9割以上
- ・保護者、職員の肯定的評価9割以上
- ・職員の肯定的評価9割以上
- ・生徒、職員の肯定的評価9割以上
- ・保護者の肯定的評価8割以上

新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組みについて（お願い）

1 生徒及び家族に発熱等がある場合は原則自宅での療養です

- 県からの協力要請で「発熱等の症状が生徒及び家族に少しでもある場合には、学校にも連絡したうえで自宅で休養すること」とされています。「発熱等」ですが、文科省では「発熱や倦怠感、のどの違和感などの風邪症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合」と示されています。発熱、咳、のどの痛み、鼻水、だるさ等で風邪症状によるものと少しでも考えられる時は、基本的には自宅での療養をお願いします。ただし、「明らかに風邪症状ではないと考えられる」場合もありますので、その際は、保護者と確認する中で、療養か登校可能であるか判断したいと考えます。
- コロナワクチンの3回目の接種が保護者にも始まっているようです。保護者に接種後発熱や風邪様症状が発症した場合にも、生徒は「家族の風邪症状による」出席停止となります。保護者が解熱または医療機関で検査した結果陰性（-）の場合、生徒も登校可能となります。

2 感染者が確認された際の対応

感染者が確認された場合、その学級の生徒全員にPCR検査を実施する「山梨方式」は令和3年度末をもって終了となりました。代わって、発生した場合、学校で濃厚接触者を特定し保健所に届け出る方法に代わりました。

3 部活動時のマスク着用について

同じく、県の協力要請で、部活動時に感染者が出ている現状から、「部活動時原則マスクを着用する」という内容が来ていますが、生徒の体調を観察しながら、激しい運動をするときや気温が上がり熱中症等の心配もあるときには、随時マスクはせずに、活動を行うこととします。ただし、マスクをつけずに大きな声を出す、などは感染リスクがありますので、必要最低限になるよう指導をしていきたいと思っております。

4 学校への連絡について

以下の場合、報告をしなければならない場合がありますので、必ず学校へ連絡をお願いします。  
ア 生徒及び家族の感染が確認された、あるいは濃厚接触者と確認された場合  
イ 生徒及び家族がPCR検査を受けることになった場合、及びその結果  
ウ その他、生徒が抗原検査等を行った場合も、その結果をお知らせください。  
\*素早い対応が必要となりますので、休日においても同様に連絡をお願いいたします。

新任職員の紹介

4月より下の6名が赴任しました。久々に三珠中に勤務する者、2年ぶりに戻った者、初めて教壇に立つ者、と様々ですが精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



ALT  
ミ・カキ  
シュライ



教諭  
荻野香織



教諭  
河西弘三



教諭  
伊藤正人



教頭  
岩井ゆかり



校長  
丹沢伸也